



市ヶ谷だより

法政大学
市ヶ谷キャンパス
教職課程センター

2021年1月号(12/25発行)

◆絶対に見逃すな！先輩の「合格体験記」は宝の山◆

教職教養に関しては、主に利用したものは教職課程センターの講座、幾つかの参考書、受験先を含む複数自治体の過去問の3つです。問題集を始めから解くのではなく、講座で習ったところから解くスタイルを続けました。7～8割、問題集が解けるようになると、次は過去問に取り組みました。どの自治体でも同じだと思いますが、それぞれの自治体で出題される問題はある程度の傾向があるはずですが、福岡市は、教育心理学はあまり出題されず、人権・同和問題が多く出題されました。皆さんの行きたい自治体の傾向は、過去問から見つけることができるため、過去問をしっかりと活用することをおススメします。過去問は10年分を取り組めば、だいたいコツはつかめると思います。また、新型コロナウイルスの影響で私は教職教養の模試を会場受験することはできませんでしたが、自宅受験が一度だけできました。受験場所とはにかく、一度模試は受けておくとういことだと思います。実際に問題を解く体験があるかないかでは、本番の緊張の度合いに差が出ると思うので、勇気を出して受験してみてください。

専門教養に関しては、参考書、過去問、いろいろな本を読む、の3つに取り組みました。私は大学受験まで筆記試験を経験していないので、特に苦戦をしています。ただ机に向かってひたすら問題を解いても知識が身につくとは思えなかったため、動画を見たり、本を読んだり、様々な形で知識をインプットできるようにしました。紆余曲折あってこの勉強方法にたどり着きましたが、思いのほかとても役に立ちました。(社会科で2つの自治体に合格したNさん)

★目指した今が始める時、ここから教員採用試験対策を計画的に進めよう★

上記の先輩の「合格体験記」にもあるように、教員採用試験は一次、二次ともに地道な準備が要求される試験であり、人物重視の様相が一層強まっています。まずは一次の筆記に受かることが先決ですが、一次の後から二次の対策では間に合いません。計画的に早めに対策を講じる必要があります。教職課程センターとしては、これらの対策に関しても全力で支援していきます。これからも積極的な活用をお待ちしています。

「**1次試験対策は3年の冬から春休みが勝負**」と言われます。それは、4年生になると5月下旬から教育実習が始まり、実習中はほとんど勉強ができなくなるからです(学校によっては教育実習の終わりが6月下旬になります)。まずは、自学自習の習慣とモチベーションアップが重要です。出来れば、センターでの講座内容が復習になるくらいのペースで勉強を進め、「よし、理解した」という自信がついてくれば後は大丈夫です。「確実で無理のない計画」、「着実に主体的な実践」が勝敗を分けます。冬休みからの計画的な取組みを期待しています。

◎1月 教職課程センター相談指導の予定◎

事前申込制(来室・メール・電話)

	9:00～12:20	14:00～16:30		9:00～12:20	14:00～16:30
7(木)	9:50～個別相談	個別相談	20(水)	10:40～個別相談	個別相談
8(金)	個別相談	個別相談	21(木)	個別相談	個別相談
12(火)	個別相談	個別相談	22(金)	個別相談	個別相談
13(水)	10:40～個別相談	個別相談	26(火)	個別相談	個別相談
14(木)	個別相談	個別相談	27(水)	教職教養対策講座	個別相談
15(金)	個別相談	個別相談	28(木)	論作文対策講座	個別相談
19(火)	個別相談	個別相談	29(金)	面接対策講座	個別相談

講座は対面を予定していますが、感染症の状況によりZoomで実施する場合があります

◎ 相談指導・各種イベントのお申込は教職課程センター(月～金 10:00～18:00)に来室、
又はメール(kkc@ml.hosei.ac.jp)、電話にて ☎ 03-3264-5562